

松田敬之 教授

研究業績

2026年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	「[史料紹介] 旧幕府典薬頭 半井家華族取立運動について」竹貫元勝博士還暦記念論文集刊行会編『竹貫元勝博士還暦記念論文集 禅とその周辺学の研究』、永田文昌堂、791～801頁	2005. 1
著書（共）	「堂上公家の部屋住」高埜利彦編『朝廷をとりまく人びと（身分的周縁と近世社会⑧）』吉川弘文館、45～72頁	2007. 6
著書（単）	『次男坊たちの江戸時代—公家社会の〈厄介者〉—』〈歴史文化ライブラリー246〉吉川弘文館、1～262頁	2008. 1
著書（共）	「西園寺家●公爵家「もう一つの西園寺家」の真相」『歴史読本』編集部編『日本の華族—その栄光と挫折の一部始終—』、新人物往来社、114～123頁	2010. 10
著書（共）	「新華族先代・先々代叙位に関する一考察」鶴崎裕雄編『地域文化の歴史を往く』和泉書院、409～428頁	2012. 8
著書（単）	『〈華族爵位〉請願人名辞典』吉川弘文館、1～928頁	2015. 12
著書（共）	「前近代の公家猶子と公家華族附籍」朝幕研究会編『論集近世の天皇と朝廷』岩田書院、303～331頁	2019. 5
著書（共）	「華士族身分と「家」意識 —名族後裔による改姓事例の紹介—」倉本一宏編『貴族とは何か、武士とは何か』思文閣出版、535～555頁	2024. 2
著書（共）	「日記にみる近世堂上公家の兄弟仲」『日本歴史』編集委員会編『きょうだいの日本史』吉川弘文館、174～183頁 ※『日本歴史』896号(2023年1月)所収の拙稿を加筆・修正の上、収録。	2024. 9
論文（単）	「華族の選に洩れた士族達」『藝林』第46巻第1号、51～73頁、（後、『日本史学年次別論文集』1997年版近現代分冊3 学術刊行会に収録）	1997. 2
論文（単）	「堂上格・華族格に関する一考察 —維新後の社家が懇望した身分について—」『藝林』第48巻第3号、26～58頁	1999. 8
論文（単）	「明治・大正期 京都官家士族の動向に関する一考察 —華族取立運動と復位請願運動を中心に—」『京都産業大学日本文	2001. 3

	化研究所紀要』第6号、244～299頁、（後、『日本史学年次別論文集』2001年版近現代分冊3 学術刊行会に収録）	
論文（単）	「近世期 宮方・摂関方殿上人に関する考察 — 『若江家所蔵文書』を中心に —」 『大倉山論集』第49輯、93～143頁	2003. 3
論文（単）	「近世期の近衛府官人（御隨身）」 『花園史学』第24号、17～51頁	2003. 11
論文（単）	「中・近世公家社会における家格上昇 — 地下官人から堂上への身分昇格運動 —」 『日本前近代社会における下級官人の研究 研究成果報告書』（研究課題番号 13301016 平成13～16年度科学研究費補助金基盤研究 A2 研究代表者：稲葉伸道）、440～456頁（13～29頁）	2005. 3
論文（単）	「幕末・維新时期における摂家一条家家臣団の動向と朝臣意識」（『近世の摂家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究成果報告書』〈東京大学史料編纂所研究成果報告二〇一三一五〉平成22～25年度科学研究費補助金基盤研究 B 研究代表者：松澤克行）、103～135頁	2014. 3
論文（単）	「旧輪王寺門跡家臣の復族・復祿運動」 『花園史学』第39号、1～29頁	2018. 11
その他（単）	「小林文広著『明治維新と京都 — 公家社会の解体 —』 『藝林』第48巻第2号、61～63頁	1999. 5
その他（単）	「華族の「選定基準」」 『歴史読本』第713号、137～142頁	1999. 8
その他（単）	「京都府立総合資料館所蔵の賀茂関係史料目録（抄）」 『京都産業大学日本文化研究所紀要』第5号（「京都賀茂の旧社家伝来資料に関する調査と研究成果報告書」研究課題番号 09410096 平成9～11年度科学研究費補助金基盤研究 B2 研究代表者：所功 より転載）、330～341頁	2000. 3
その他（共）	「カモ（賀茂・鴨）社関係の研究文献目録（抄）」 『京都産業大学日本文化研究所紀要』第5号（「京都賀茂の旧社家伝来資料に関する調査と研究成果報告書」研究課題番号 09410096 平成9～11年度科学研究費補助金基盤研究 B2 研究代表者：所功 より転載）、342～366頁	2000. 3
その他（単）	「冷泉家の家司達 — 『中川清基日記』の紹介 —」 『志くれてい』第72号、2～3頁	2000. 4
その他（単）	「東伏見宮 — 変転を重ねた皇族 —」 『歴史と旅』第27巻第11号、76～79頁	2000. 7
その他（単）	「東久邇宮 — 終戦内閣首班 —」 『歴史と旅』第27巻第11号、88～93頁	2000. 7
その他（単）	「皇族の終戦と停戦使節」 『歴史と旅』第27巻第12号、152	2000. 8

	～157 頁	
その他（共）	「後桜町天皇宸記 一明和元年大嘗会記事一」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 6 号、197～216 頁	2001. 3
その他（共）	「後桜町天皇宸記 一宝暦十三年八月条一」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 7・8 合併号、117～146 頁	2003. 3
その他（単）	「冷泉家と掲明集・桂光 一冷泉家と近代文化サークルの形成一」『志くれてい』第 86 号、4～5 頁	2003. 10
その他（単）	「公爵編 西園寺家 一忘れられた「もう一つの西園寺家」の真相一」『歴史読本』第 761 号、74～79 頁→後、著書（共）『日本の華族—その栄光と挫折の一部始終—』に加筆修正の上、収録	2003. 2
その他（単）	「冷泉家の子供たち 一庶子と猶子一」『冷泉家時雨亭叢書月報』第 62 号、5～8 頁	2004. 8
その他（単） （項目執筆）	「平知信朝臣記」『日本古代史大辞典』、大和書房、405 頁	2006. 1
その他（単） （項目執筆）	「親信卿記」『日本古代史大辞典』、大和書房、427 頁	2006. 1
その他（共）	「『安政度造営 清涼殿障子新調記』翻刻」冷泉為理『安政度造営 清涼殿障子新調記』一翻刻と解説一（立命館大学 21 世紀 COE プログラム平成 17 年度報告書）、24～121 頁	2006. 3
その他（単）	「『安政度造営 清涼殿障子新調記』登場人物一覧」冷泉為理『安政度造営 清涼殿障子新調記』一翻刻と解説一（立命館大学 21 世紀 COE プログラム平成 17 年度報告書）、18～22 頁	2006. 3
その他（単）	「冷泉家の猶子たち」『志くれてい』第 102 号、（財）冷泉家時雨亭文庫、4～5 頁	2007. 10
その他（単）	「〈書評〉鈴木康子著『長崎奉行の研究』『花園史学』第 28 号、花園大学史学会、104～114 頁	2007. 11
その他（単）	「自著を語る『次男坊たちの江戸時代—公家社会の〈厄介者〉—』」『東京新聞夕刊』『中日新聞夕刊』	2008. 1
その他（単）	「『安政度造営 小御所障子新調記』登場人物一覧—歌人と画師を中心に—」『冷泉為理『安政度造営 小御所障子新調記』一翻刻と解説一』（文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト平成 19 年度報告書）、立命館大学歴史都市防災研究プロジェクト事務局、18～30 頁	2008. 2
その他（単）	「内裏・御所造営関係史料目録」『冷泉為理『安政度造営 小御所障子新調記』一翻刻と解説一』（文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト平成 19 年度報告書）、立命館大学歴史都市防災研究プロジェクト事務局、163～185、186～196	2008. 2

	頁	
その他（単）	「公家社会の次男・三男坊たち一系譜や墓碑に生きた証を探る―」『本郷』第74号、吉川弘文館、23～25頁	2008. 3
その他（単） （項目執筆）	「愛宕千日詣」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、16頁	2009. 2
その他（単） （項目執筆）	「粟田宮祭」『年中行事大辞典』、吉川高文館、27頁	2009. 2
その他（共） （項目執筆）	「今宮祭」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、65～66頁 （前段箇所は三枝暁子氏が執筆）	2009. 2
その他（単） （項目執筆）	「白川熊野祭」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、368頁	2009. 2
その他（単）	「〈書評〉鈴木康子著『長崎奉行一等身大の官僚群像―』」 『花園史学』第33号、106～109頁	2012. 11
その他（単） （項目執筆）	「公家の次男坊」（『近世人の事典』東京堂出版）深谷克己・ 須田努編、49～50頁	2013. 4
その他（単）	「廣庭基介先生の傘寿の賀を祝して」（『廣庭基介先生傘寿記 念誌 アナログ司書の末裔伝』花園大学図書館司書資格課程） 菅修一・堤美智子編、10～11頁	2013. 11
その他（単）	「〈書評〉尚友倶楽部・華族史料研究会編『四條男爵家の維新 と近代』『日本歴史』第789号、113～115頁	2014. 2
その他（単）	「〈歴史への窓〉松田道之と松田敬之― 一字違いの人物 ―」 『花園史学』第35号、89～93頁	2014. 11
その他（単）	「〈新刊紹介〉刑部芳則著『京都に残った公家たち ―華族の 近代―』『地方史研究』第65巻第5号(通号377)、132頁～ 133頁	2015. 10
その他（単）	「〔歴史手帖〕学者の世界と爵位」『日本歴史』第835号 29 ～32頁	2017. 11
その他（イン タビュー）	「〈旬英気鋭〉現代に通じる身分への思い」（共同通信社イン タビュー）※『高知新聞』2016年1月27日朝刊・11面をはじ め、同社加盟紙である『徳島新聞』『山梨日日新聞』『伊勢 新聞』『神奈川新聞』『沖縄タイムス』『琉球新報』『秋田 魁新報』『信濃毎日新聞』『東奥日報（青森）』等の各紙に 随時掲載。	2016. 1. 27
その他（イン タビュー）	「華族へ昇格請願泣き笑い◇「授爵録」や日記から辞典執筆、 政治史の一面映し出す◇」『日本経済新聞』2016年2月12日 朝刊 32面文化欄	2016. 2. 12
その他（イン	「松田敬之氏に聞く、『〈華族爵位〉請願人名辞典』（吉川	2016. 2

タビユー)	弘文館) 請願をつうじて知られざる人間関係が分かる 大正・昭和期でも大勢の人が自薦・他薦で請願 『図書新聞』3241号	
その他 (単)	「華族の爵位と日本人」 『本郷』 No. 122、吉川弘文館、5～7頁	2016. 3
その他 (インタビュー)	「華族に「なれなかった」人って? / 「〈華族爵位〉請願人名辞典」 『産経新聞』 東京版、2016年2月29日朝刊・14面 ※『産経新聞』 大阪版は2016年3月3日朝刊・11面で「華族に「なれなかった」人 / 請願活動の悲喜劇ひもとく / 900人の記録刊行」の見出しで掲載。	2016. 3. 3
その他 (単)	「〔週刊新潮掲示板〕華族になれなかった「家の伝承」」 『週刊新潮』 平成28年4月14日号 76頁	2016. 4
その他 (単)	〈書評〉「長坂良宏著『近世の撰家と朝幕関係』」 『日本歴史』 第850号 97～99頁	2019. 3
その他 (単)	「日記にみる近世堂上公家の兄弟仲」 『日本歴史』 第896号 [新年特集 きょうだいの日本史]、72～78頁	2023. 1
その他 (単)	「明治期ドイツ在留日本人留学生の食事情 一望郷の日本食―」 『花園史学』 第43号、59～65頁	2023. 3
その他 (単)	「無題 (はがき通信)」 『日本歴史』 第924号、128頁	2025. 4
口頭発表 (講演)	「近世公家社会の身分・制度―京都府立総合資料館所蔵の公家資料の紹介―」 (京都府立総合資料館府民講座)	2002. 9
口頭発表 (研究報告)	「近世期における宮方・撰関方殿上人 一堂上取立をめぐる―」 法制史学会第 375 回近畿部会 於同志社大学光塩館	2004. 6
口頭発表 (講演)	「公家のいた(見た)風景」 (財団法人大学コンソーシアム京都 プラザカレッジ「京都学講座」)	2004. 9
口頭発表 (講演)	「明治・大正期 京都官家士族と請願運動」 (京都市生涯学習総合センター京都アスニー ゴールデン・エイジ・アカデミー「京都歴史回廊文化塾 近現代京都の諸相―歴史・文学・伝統芸能―」)	2010. 2
口頭発表 (講演)	「近世公家・近代華族社会を生きた人々―次三男・女性たちを中心に―」 (京都市生涯学習総合センター京都アスニー ゴールデン・エイジ・アカデミー「京都歴史回廊文化塾 京都を創った人、京都に魅せられた人」)	2011. 3
口頭発表 (講演)	「近代華族社会と禅宗―近世公家社会とのつながり―」、花園会夏季講座、於花園大学	2011. 8
口頭発表 (講演)	「〈報告〉関西大学図書館蔵『拾葉畧記』の紹介・その他」、平成 22 年度～25 年度科学研究費補助金基盤研究「近世の撰	2011. 9

	家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究」研究会、 於東京大学史料編纂所	
口頭発表 (講演)	「近代華族社会と禅宗寺院・僧侶 ～近世公家社会とのつながり～」(京都市生涯学習総合センター 京都アスニー ゴールデン・エイジアカデミー「京都歴史回廊塾 変革期京都の歴史と文化」)*2011年8月の「近代華族社会と禅宗 —近世公家社会とのつながり—」(花園会夏季講座)を改題の上、一部内容を改編して講演	2014. 3
口頭発表 (講演)	「幕末・維新期的一条家と家臣」(京都市生涯学習総合センター 京都アスニー ゴールデン・エイジアカデミー「京都歴史回廊協議会 京を舞台に活躍した人物」)	2015. 3
口頭発表 (講演)	「近世公家・近代華族社会の家庭環境 —部屋住・厄介らを中心として—」 京都市生涯学習総合センター／アスニーセミナー、14時～16時	2016. 11. 11
口頭発表 (講演)	「華族制度と授爵規準の変遷」花園大学史学会 特別講演	2017. 11. 18
口頭発表 (講演)	「華族制度と授爵基準の変遷—京都の旧公家社会を中心として—」京都歴史回廊協議会第15回京都学セミナー	2018. 2
口頭発表 (研究報告)	「華士族制と「家」意識 —名族後裔による改姓事例の紹介—」大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センター基幹共同研究「貴族とは何か、武士とは何か」(代表:倉本一宏教授)2021年度第2回研究会 Zoomによるオンライン報告	2021. 7
口頭発表 (講演)	「「華族」を通して「近代」を知る —その醍醐味と調べ方—」令和4年度 国立国会図書館関西館ライブラリーカフェ ※国立国会図書館関西館より完全オンライン講演+座談会	2023. 3. 15
口頭発表 (講演)	「江戸時代の公家社会 —公家町とその周辺の人々—」花園大学地域連携講座まなび庵	2023. 10. 18
口頭発表 (講演)	「近世初期の公家社会と猪熊事件」2023年度花園大学公開講演会	2024. 3. 23